

競 技 者 注 意 事 項

本大会は「感染拡大を抑え、医療体制を守り、社会経済活動を継続するための対策期間（沖縄県対処方針）」宣言下での開催となります。くれぐれも新型コロナウイルス感染症予防に協力いただき、観戦に望んでください。競技参加者・引率者は、体調管理チェック表(大会前)を主催者に必ず提出してください。(様式は沖縄陸協ホームページからダウンロードして使用してください)

1.本大会は、2022年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに競技注意事項により実施する。

2.感染症対策として

- (1) 大会前日と当日の2日間連続で腋下体温が37.5度を超える場合の参加・観戦はできない。(自宅で検温)
- (2) 大会当日に、腋下体温37.5度を超える場合の参加・観戦はできない。
(自宅で検温)
- (3) 大会前日と当日の腋下体温を引率責任者に必ず報告する。
- (4) 競技中やウォーミングアップ(ダウン)の時以外はマスク着用を心がける。
- (5) 競技場内や競技中は密閉・密集・マイクロ飛沫リスク防止のため、近距離での会話や大声での発声を避ける。(感染防止のため、スタンドやテント外でも同様の対応をとる。) 隣との間隔を約1mあける。
- (6) 器具を触った手で口や目に触らず、競技終了後入念な手洗いうがいをする。

3.ウォーミングアップについて

- (1) 競技開始20分前まで本競技場を使用しウォーミングアップを行う事が出来る。
- (2) 競技中のウォーミングアップは、ウォーミングアップ場(サブトラック兼ソフトボール場)や競技場周辺を使用する。ウォーミングアップ場が使用出来ないときは、本競技場バックストレートを使用しウォーミングアップを行う事が出来る。但し、直線種目競技中に限る。周回競技中は禁止。
- (3) 室内練習場は使用禁止とする。

4.招集について

- (1) 選手はマスクを着用し招集(受付)を済ませること。
- (2) 招集(受付)方法は、招集完了時刻の15分前から係が名前を呼び出し、アスリートビブスを確認させる。
※招集場所へはユニホームを着用。(ユニホームにアスリートビブスを取り付けておく)
※招集完了時刻に受付を済ませていない場合は棄権と判断する。
- (3) トラック競技に出場する競技者は腰ゼッケンを受け取り各自で取り付ける。返却は、ゴール後に各自で取り外し回収かごに入れる。
- (4) トラック競技は競技開始時刻の10分~15分前までに出発場所に集合し待機する。
- (5) フィールド競技は練習時間があるため競技場所へ移動し、競技役員の指示を受け練習

を行う。

5. 招集（受付）後の移動について

(1) 走幅跳び、三段跳びの選手は屋内練習場内通路を通り移動する。

(2) 第1ゲートから（ゴール側）移動する種目

・トラック種目：400m 800m 1500m 4×100mリレー（1・2走者）

・フィールド種目：円盤投げ 砲丸投げ ジャベリックスロー

第4ゲートから（100mスタート側）移動する種目

・トラック種目：100m 200m ハードル種目 3000m 4×100mリレー（2・4走者）

・フィールド種目：走高跳び 棒高跳び

(3) 移動時または競技終了後に本部前を通り移動しない。

6. 競技について

(1) 事故防止のため短距離走では、ゴール後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。

(2) トラック競技のスタート時、他の競技者の邪魔になるような発声をしてはならない。

(3) リレー競技について

① リレーオーダー用紙は当日招集所で受け取ること。

※陸協ホームページからダウンロードし使用可。

② リレーオーダーは1組の招集完了時刻60分前までに所定の用紙に正確に記入の上、そのチームの監督がTIC（受付）に1部提出する。

③ リレーオーダー用紙は準決勝・決勝においても同様に提出すること。

④ チームの出場者は同一のユニフォームを着用すること。

(4) 欠場者のレーンはそのままあける。

(5) 3000m 競技は通し番号を使用するため TIC（受付）で受け取る。

(6) バーの上げ方について

	練習	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回
共男走高跳	1.45m	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.73	1.76	1.79	1.82
1年男走高跳	1.15m	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.53	1.56
共女走高跳	1.20m	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.48	1.51	1.54	1.57
1年女走高跳	1.05m	1.10	1.15	1.20	1.25	1.30	1.33	1.36	1.39	1.42

3. 用器具について

(1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使わなければならない。

但し、やり及び棒高跳用ポールは検定の上個人所有物の使用を認める。個人のやりは競技終了後返却する。

(2) 跳躍、投てき競技の助走に使用するマークは主催者が用意する。

4. 競技用スパイクピンについて

本競技場は全天候舗装であり、スパイクピンの長さは9mm以下とする。

5. その他

- (1) 1階スタンド下通路及び雨天練習場付近の選手控場所設置は禁止する。
- (2) 競技場（練習場も含む）に商社名、商品名のついたものを持ち込むことはできない。
詳細は「競技会における広告及び展示物に関する規定」に準じる。
- (3) 記録の証明を希望する競技者は、記録情報室に300円を添えて申出をし、30分後に受け取ること。
- (4) 抗議申立書は競技規則TR8（国内競技会）によって総務に提出する。
- (5) 競技場内で撮影された競技写真の著作権については、大会主催者に帰属するものとする。
- (6) 競技場内での写真撮影は、許可された報道カメラマンのみとする。
- (7) 個人情報の本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用しない。
- (9) 競技終了後は、審判の指示により速やかに退場する。
- (10) 記録速報掲示はしません。沖縄陸上競技協会ホームページに掲載する。
又は当日QRコードを案内します。
- (11) ゴミは、全て持ち帰る。